

学校コード F113310102877

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

文京学院大学 経営学部

マーケティング・デザイン学科

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人文京学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学生支援センター 教務 グループ(経営学部担当)
職名・氏名	マネージャー・ ^{ヤマシタスヒロ} 山下和宏
電話番号	03-5684-4810(内線:2421)
(夜間)	03-3814-1661(内線:2421)
e-mail	ba-kyoumu@bgu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合:「〇〇大学」
- 学部の設置の場合:「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合:「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経営学部

＜マーケティング・デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人文京学院

(2) 大学名

文京学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒113-0023

東京都文京区向丘1丁目19番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シマダ マサカズ) 島田 昌和 (平成27年4月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(フクイ ツトム) 福井 勉 (令和5年4月)		
学部長	(フジタ クニヒコ) 藤田 邦彦 (令和5年4月)		
学科長等	(カワゴエ アキエ) 川越 仁恵 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 マーケティング・デザイン学科	経済学関係	4年	130人	2年次 0人	520人		
学士(経営学)				3年次 0人			

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	130人	人	1.21倍	-	1.21倍	-	
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	743	()					
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	565	()					
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	299	()					
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	158	()					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.21	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	158 [] ()	— [] ()	
2年次	/		— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	
3年次			/		— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()
4年次	/				/		— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()
計			— [] ()	— [] ()			— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()	— [] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
令和5年度	158 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{158} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

人間共生論	科目の授業運用の観点から、担当教員を兼任教員3名から兼任教員11名に変更
情報セキュリティ概論	配当年次を科目の適性から1年次から2年次へ変更
データサイエンス入門	全学として科目を必修科目として定めたことにより、本学カリキュラム上でも選択科目から必修科目に変更
健康の科学	兼任教員1名の退職に伴い、別途兼任教員を1名配置
スポーツI	兼任教員1名の退職に伴い、別途兼任教員を1名配置
スポーツII	兼任教員1名の退職に伴い、別途兼任教員を1名配置
日本語表現法応用I	兼任教員1名の体調不良に伴い、別途兼任教員を1名配置
日本語表現法応用II	兼任教員1名の体調不良に伴い、別途兼任教員を1名配置
Integrated English Skills-I A	予定していた兼任教員7名の中から、3名を入れ替え配置し合計6名体制とした
Integrated English Skills-I B	予定していた兼任教員7名の中から、3名を入れ替え配置し合計6名体制とした
Global Communicative English-IA	予定していた兼任教員7名の中から、3名を入れ替え配置し合計5名体制とした
Global Communicative English-IB	予定していた兼任教員7名の中から、3名を入れ替え配置し合計5名体制とした
TOEIC-I A	予定していた兼任教員6名の中から、4名を入れ替え配置し合計7名体制とした
TOEIC-I B	予定していた兼任教員6名の中から、4名を入れ替え配置し合計7名体制とした
中国語I A	兼任教員の1名の退職に伴い、3名の兼任教員の体制とした
中国語I B	兼任教員の1名の退職に伴い、3名の兼任教員の体制とした
韓国・朝鮮語初級I A	予定していた兼任教員2名から、兼任教員1名を入れ替え、兼任教員1名の増員を行い兼任教員3名体制とした
韓国・朝鮮語初級I B	予定していた兼任教員2名から、兼任教員1名を入れ替え、兼任教員1名の増員を行い兼任教員3名体制とした
フランス語初級I A	予定していた兼任教員1名に、兼任教員1名の増員を行い兼任教員2名体制とした
フランス語初級I B	予定していた兼任教員1名に、兼任教員1名の増員を行い兼任教員2名体制とした
スペイン語初級I A	予定していた兼任教員1名に、兼任教員1名の増員を行い兼任教員2名体制とした
スペイン語初級I B	予定していた兼任教員1名に、兼任教員1名の増員を行い兼任教員2名体制とした
キャリアデザインI	予定していた兼任教員1名に、兼任教員1名の増員を行い兼任教員2名体制とした
キャリアデザインII	予定していた兼任教員1名に、兼任教員1名の増員を行い兼任教員2名体制とした
経済学(ミクロ)	予定していた兼任教員1名を、別途兼任教員1名に変更
経済学(マクロ)	予定していた兼任教員1名を、別途兼任教員1名に変更
ビジュアル・シンキング	予定していた専任教員2名のうち1名の退職に伴い、新規で兼任教員を1名配置し、また別途専任教員1名の配置を入れ替え、専任教員1名兼任教員1名の2名体制とした
経営学概論	予定していた1名の兼任教員を担当から外し、兼任教員2名体制とした
簿記原理基礎	予定していた3名の兼任教員に1名の兼任教員を加え、兼任教員4名体制とした
簿記原理発展	予定していた3名の兼任教員に1名の兼任教員を加え、兼任教員4名体制とした
コンピュータリテラシー(基礎)	予定していた3名の兼任教員に1名の兼任教員を加え、兼任教員4名体制とした
コンピュータリテラシー(応用)	予定していた3名の兼任教員に1名の兼任教員を加え、兼任教員4名体制とした
画像表現(応用)	予定していた2名の兼任教員の2名のうち、1名を担当からはずし1名体制とした
経営統計(基礎)	予定していた兼任教員1名を、1名の専任教員と1名の兼任教員に入れ替え2名体制で配置した
経営統計(多変量解析)	予定していた兼任教員1名を、1名の専任教員と入れ替え配置した
初年次ラボ	予定していた1名の専任教員の退職と、専任教員1名の在外研究により、現状21名の専任教員と兼任教員の体制とした
ビジュアルデザイン	予定していた1名の専任教員の退職に伴い、1名の兼任教員を配置した

- (注) ・ 2(1) ①-③ 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	153 科目	0 科目	167 科目	15 科目 1	152 科目 △1	0 科目 0	167 科目 0	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{167} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校 舎 敷 地	59,247.80 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	59,247.80 m ²						
	運 動 場 用 地	35,169.84 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	35,169.84 m ²						
	小 計	94,417.64 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	94,417.64 m ²						
	そ の 他	11,898.19 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	11,898.19 m ²						
	合 計	106,315.83 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	106,315.83 m ²						
(2) 校 舎	専 用	63,921.87 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	63,921.87 m ²						
	(63,921.87 m ²)	(0.00 m ²)	(0.00 m ²)	(0.00 m ²)	(63,921.87 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	74室	演 習 室	32室	実 験 実 習 室	56室	情 報 処 理 学 習 施 設	15室	語 学 学 習 施 設	2室	
							(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	経営学部 マーケティング・デザイン学科				12 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	変更理由 (5) 一部、未集計があったため。 大学全体の購入計画を見直したため。			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点					
	経営学部 マーケティング・デ ザイン学科	342,446 [48,299] (342,064 [48,283]) (370,087 [49,539])	516 [142] (516 [142]) (487 [106])	34,211 [32,711] (34,211 [32,711]) (43,057 [41,380])	8,923 (8,923) (9,609)	10,264 (10,264)	3,096 (3,096)				
計	342,446 [48,299] (342,064 [48,283]) (370,087 [49,539])	516 [142] (516 [142]) (487 [106])	34,211 [32,711] (34,211 [32,711]) (43,057 [41,380])	8,923 (8,923) (9,609)	10,264 (10,264)	3,096 (3,096)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	4,054.92m ²		574		479,000						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要								
	3,139.25m ²		テニスコート3面		フットサルコート1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	変更理由 (5) 外部要因による設備(主にPC)の供給不足から、供給の安定を見越し順延を行った。			
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	6,760千円	6,760千円		6,760千円		
	共同研究費等		1,200千円	1,200千円	設備購入費	32,500千円 19,286千円	115,500千円 109,785千円	5,000千円 19,286千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,412千円	1,126千円	1,132千円	1,138千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	文京学院大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
経営学部	4	260		1040	-	1.04	-	1.03	1.00	-	-	-						
経営コミュニケーション学科	4	130		910	学士(経営学)	1.02	-	1.01	0.97	-	平成3	東京都文京区向丘1-19-1	令和5年4月収容定員変更更新収容定員:1040 変更後収容定員:910					
マーケティング・デザイン学科	4	130		130	学士(経営学)	1.21	-	1.21	-	-	令和5	東京都文京区向丘1-19-1	令和5年4月開設					
外国語学部	4	260		1040	-	0.80	-	0.77	-	-	-	東京都文京区向丘1-19-1						
英語コミュニケーション学科	4	260		1040	-	0.80	-	0.77	-	-	平成13	東京都文京区向丘1-19-1						
国際ビジネスコミュニケーション専攻	4	130		520	学士(コミュニケーション)	0.84	-	0.83	-	-	平成13	東京都文京区向丘1-19-1						
国際教養コミュニケーション専攻	4	130		520	学士(国際教養)	0.76	-	0.71	-	-	平成13	東京都文京区向丘1-19-2						
人間学部	4	400		1600	-	0.85	-	0.85	0.84	-	-	-						
コミュニケーション社会学科	4	60		240	学士(人間学)	0.96	-	1.00	0.97	-	平成15	埼玉県ふじみ野市電久保1196 東京都文京区向丘1-19-1						
児童発達学科	4	130		520	学士(社会福祉学)	0.72	-	0.73	-	-	平成15	埼玉県ふじみ野市電久保1196						
人間福祉学科	4	110		440	学士(福祉学)	0.72	-	0.70	-	-	平成15	埼玉県ふじみ野市電久保1196 東京都文京区向丘1-19-1						
心理学科	4	100		400	学士(心理学)	1.10	-	1.08	1.06	-	平成15	埼玉県ふじみ野市電久保1196						
保健医療技術学部	4	300		1200	-	0.96	-	0.95	0.93	-	-	-						
理学療法学科	4	80		320	学士(理学療法学)	1.00	-	0.96	-	-	平成18	埼玉県ふじみ野市電久保1196						
作業療法学科	4	40		160	学士(作業療法学)	0.83	-	0.80	-	-	平成18	埼玉県ふじみ野市電久保1196						
臨床検査学科	4	80		320	学士(臨床検査学)	0.83	-	0.87	-	-	平成18	埼玉県ふじみ野市電久保1196 東京都文京区向丘1-19-1						
看護学科	4	100		400	学士(看護学)	1.08	-	1.07	0.99	-	平成26	埼玉県ふじみ野市電久保1196 東京都文京区向丘1-19-1						
大学全体	4	1220		4880	-	0.96	-	0.90	0.88	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 マーケティング・デザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)	池田 芳彦 <令和5年4月> 商学博士※	グローバルマーケティング 貿易実務 国際情勢 グローバルイズム 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授(学部長)	喜多見 康 <令和5年4月> 芸術博士	映像表現基礎(After Effects) インタラクティブデザイン 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	公野 勉 <令和5年4月> 修士(政治学)	著作権ビジネス エンタテインメントケースメ ソッド コンテンツ戦略論 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	倉嶋 正彦 <令和5年4月> 専門学校卒	ビジュアルデザイン ビジュアル・シンキング ビジュアルデザイン制作 ビジュアルデザイン制作(インフォ グラフィック) 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	助教	滝澤 謙司 <令和6年4月> 学士(造形)	デジタルデザイン Web制作実習Ⅰ Web制作実習Ⅱ ビジュアルデザイン制作 ビジュアルデザイン制作(インフォ グラフィック) 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	小松 香爾 <令和5年4月> 修士(理学)	プログラミング言語 情報ネットワーク社会 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	藤田 利彦 <令和5年4月> 博士(情報科学)	経営情報(基礎) 経営情報(応用) 短期インターンシップ 情報セキュリティ概論 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究) キャリアメンタリング演習Ⅰ キャリアメンタリング演習Ⅱ
専	教授	馬渡 一浩 <令和5年4月> 商学士	ビジュアル・シンキング マーケティング ブランド戦略 プロモーション戦略 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	濱田 俊也 <令和6年4月> 博士(経済学)	マーケティング ブランド戦略 プロモーション戦略 デザイン思考と商品開発実践 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	准教授	押切 幸雄 <令和5年4月> 修士(国際ビジネス学)(英米)	マーケティング デジタルマーケティング(基礎) デジタルマーケティング(応用) サービスマーケティング 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)

【令和5年度】

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)	池田 芳彦 <令和5年4月> 商学博士※	グローバルマーケティング 貿易実務 国際情勢 グローバルイズム 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授(学部長)	喜多見 康 <令和5年4月> 芸術博士	映像表現基礎(After Effects) インタラクティブデザイン 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	公野 勉 <令和5年4月> 修士(政治学)	著作権ビジネス エンタテインメントケースメ ソッド コンテンツ戦略論 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	助教	滝澤 謙司 <令和6年4月> 学士(造形)	デジタルデザイン Web制作実習Ⅰ Web制作実習Ⅱ ビジュアルデザイン制作 ビジュアルデザイン制作(インフォ グラフィック) 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	小松 香爾 <令和5年4月> 修士(理学)	プログラミング言語 情報ネットワーク社会 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	藤田 利彦 <令和5年4月> 博士(情報科学)	経営情報(基礎) 経営情報(応用) 短期インターンシップ 情報セキュリティ概論 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究) キャリアメンタリング演習Ⅰ キャリアメンタリング演習Ⅱ
専	教授	馬渡 一浩 <令和5年4月> 商学士	ビジュアル・シンキング マーケティング ブランド戦略 プロモーション戦略 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	教授	濱田 俊也 <令和6年4月> 博士(経済学)	マーケティング ブランド戦略 プロモーション戦略 デザイン思考と商品開発実践 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	准教授	押切 幸雄 <令和5年4月> 修士(国際ビジネス学)(英米)	マーケティング デジタルマーケティング(基礎) デジタルマーケティング(応用) サービスマーケティング 初年次ラボ 基礎演習 外国書講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川越(松原)仁恵 <令和5年4月> 修士(教育学)※ ビジュアル・シンキング デザインの経営史 初年次ラボ 基礎演習 外国語講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	准教授	中路(井上)真紀 <令和5年4月> 修士(デザイン学)※ ビジネスとデザイン ビジネスデザイン実習 UI/UXデザイン 初年次ラボ 基礎演習 外国語講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	助教	Rocha Feijo Flavia <令和5年4月> 修士(学術) Integrated English Skills-I A Integrated English Skills-I B TOEIC-I A TOEIC-I B Integrated English Skills-II A Integrated English Skills-II B 初年次ラボ
専	助教	吉田 啓佑 <令和5年4月> 博士(理学) データリテラシー データ分析 AI概論 初年次ラボ 基礎演習 外国語講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
兼任	准教授	青木 達 <令和5年4月> 教育学修士 健康の科学 スポーツⅠ スポーツⅡ シーズンスポーツⅠ シーズンスポーツⅡ
兼任	准教授	赤松 淳子 <令和5年4月> Doctor of Philosophy 比較文化論Ⅰ ジェンダー論
兼任	准教授	新井 保裕 <令和5年4月> 博士(学術) 韓国・朝鮮語初級ⅠA 韓国・朝鮮語初級ⅠB
兼任	教授	夏屋 仁美 <令和5年4月> 博士(経営管理学) 経営学総論 社会と倫理 初年次ラボ
兼任	助教	岩館 豊 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 社会調査法(基礎) 社会調査法(発展)
兼任	教授	大野 和巳 <令和5年4月> 修士(経営学)※ 経営学総論 初年次ラボ
兼任	特任教授	亀川 雅人 <令和5年4月> 博士(経営学) 経済学(ミクロ) 経済学(マクロ)
兼任	准教授	草野 千秋 <令和5年4月> 博士(経済学) キャリアデザインⅠ 初年次ラボ
兼任	教授	桑子 順子 <令和6年4月> 文学修士 比較文化論Ⅱ
兼任	教授	櫻澤 仁 <令和5年4月> 経営学修士 経営学総論 初年次ラボ
兼任(理事長)	教授(理事長)	鳥田 昌和 <令和5年4月> 博士(経営学) 初年次ラボ
兼任	教授	鈴木 豊 <令和5年4月> 文学修士 日本語表現法応用Ⅰ 日本語表現法応用Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授 (専任)	川越(松原)仁恵 <令和5年4月> 修士(教育学)※ ビジュアル・シンキング デザインの経営史 初年次ラボ 基礎演習 外国語講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	准教授	中路(井上)真紀 <令和5年4月> 修士(デザイン学)※ ビジネスとデザイン ビジネスデザイン実習 UI/UXデザイン 初年次ラボ 基礎演習 外国語講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究)
専	助教	Rocha Feijo Flavia <令和5年4月> 修士(学術) Integrated English Skills-I A Integrated English Skills-I B TOEIC-I A TOEIC-I B Integrated English Skills-II A Integrated English Skills-II B 初年次ラボ
専	助教	吉田 啓佑 <令和5年4月> 博士(理学) データリテラシー データ分析 AI概論 初年次ラボ 基礎演習 外国語講読 専門演習(3年) 専門演習(卒業研究) 経営統計(基礎) 経営統計(多変量解析)
兼任	准教授	青木 達 <令和5年4月> 教育学修士 健康の科学 スポーツⅠ スポーツⅡ シーズンスポーツⅠ シーズンスポーツⅡ
兼任	准教授	赤松 淳子 <令和5年4月> Doctor of Philosophy 比較文化論Ⅰ ジェンダー論
兼任	教授	夏屋 仁美 <令和5年4月> 博士(経営管理学) 経営学総論 社会と倫理 初年次ラボ
兼任	助教	岩館 豊 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 社会調査法(基礎) 社会調査法(発展)
兼任	教授	大野 和巳 <令和5年4月> 修士(経営学)※ 経営学総論 初年次ラボ
兼任	准教授	草野 千秋 <令和5年4月> 博士(経済学) キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 初年次ラボ
兼任	教授	桑子 順子 <令和6年4月> 文学修士 比較文化論Ⅱ
兼任	教授	櫻澤 仁 <令和5年4月> 経営学修士 経営学総論 初年次ラボ
兼任(理事長)	教授(理事長)	鳥田 昌和 <令和5年4月> 博士(経営学) 初年次ラボ

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	准教授	高木 裕宜 <令和5年4月> 博士(学術)
		担当授業科目名 初年次ラボ
兼任	准教授	高橋 修一郎 <令和7年4月> 経営管理学修士
		ツーリズム
兼任	准教授	高橋 内香 <令和5年4月> 博士(商学)
		簿記原簿基礎 簿記原簿発展 初年次ラボ
兼任	教授	櫻橋 サンドラ <令和5年4月> Masters of Business Administration (米園)
		Global Communicative English-IA Global Communicative English-IB 初年次ラボ
兼任	教授	中島 真澄 <令和5年4月> 博士(経営学)
		簿記原簿基礎 簿記原簿発展 初年次ラボ
兼任	准教授	仲田 知弘 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス入門
兼任	教授	中山 智博 <令和5年4月> 工学博士
		人間共生論 地球環境論Ⅰ 地球環境論Ⅱ
兼任	准教授	畑 倫子 <令和6年4月> 博士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 行動科学
兼任	准教授	平田 博紀 <令和5年4月> 修士(経営学) ※
		初年次ラボ
兼任	教授	魯 曉琨(泰山 暁) <令和5年4月> 博士(人文科学)
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語セミナーⅠA 中国語セミナーⅠB 中国語セミナーⅡA 中国語セミナーⅡB 日中比較文化 中国語ⅢA 中国語ⅢB 初年次ラボ

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	准教授	高木 裕宜 <令和5年4月> 博士(学術)
		担当授業科目名 初年次ラボ
兼任	准教授	高橋 修一郎 <令和7年4月> 経営管理学修士
		ツーリズム
兼任	准教授	高橋 内香 <令和5年4月> 博士(商学)
		簿記原簿基礎 簿記原簿発展 初年次ラボ
兼任	教授	櫻橋 サンドラ <令和5年4月> Masters of Business Administration (米園)
		Global Communicative English-IA Global Communicative English-IB 初年次ラボ
兼任	教授	中島 真澄 <令和5年4月> 博士(経営学)
		簿記原簿基礎 簿記原簿発展 初年次ラボ
兼任	准教授	仲田 知弘 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス入門
兼任	教授	中山 智博 <令和5年4月> 工学博士
		人間共生論 地球環境論Ⅰ 地球環境論Ⅱ
兼任	准教授	畑 倫子 <令和6年4月> 博士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 行動科学 人間共生論
兼任	准教授	平田 博紀 <令和5年4月> 修士(経営学) ※
		初年次ラボ
兼任	教授	魯 曉琨(泰山 暁) <令和5年4月> 博士(人文科学)
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語セミナーⅠA 中国語セミナーⅠB 中国語セミナーⅡA 中国語セミナーⅡB 日中比較文化 中国語ⅢA 中国語ⅢB 初年次ラボ
兼任	教授	早奥田 万智子 <令和6年4月> 国際学修士
		人間共生論
兼任	教授	小林 麗史 <令和6年4月> 博士(心理学)
		人間共生論
兼任	教授	小林 安徳 <令和6年4月> 博士(法学)
		人間共生論
兼任	准教授	豊丸 あすか <令和6年4月> 博士(社会学)
		人間共生論
兼任	講師	Palmer, Sala <令和6年4月> 修士(言語情報学)
		Global Communicative English-IA Global Communicative English-IB Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB
兼任	教授	福井 雄 <令和5年4月> 医学博士(整形外科)
		人間共生論
兼任	教授	文野 岸 <令和5年4月> 博士(心理学)
		人間共生論
兼任	教授	山崎 幸子 <令和5年4月> 博士(人間科学)
		人間共生論

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	赤坂 綾 <令和5年4月> 修士(学術)
		中国語 IA 中国語 IB
兼任	講師	藤 由衣子 <令和5年4月> 修士(文学)※
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB TOEIC-IA TOEIC-IB
兼任	講師	浅井 みどり <令和6年4月> 修士(文学)
		Integrated English Skills-IIA Integrated English Skills-IB
兼任	講師	Anthony Del Vecchio <令和6年4月> Master of Education TESOL
		Global Communicative English-IIA Global Communicative English-IB Global Communicative English-IIIA Global Communicative English-IIIB
兼任	講師	飯田 千代 <令和6年4月> 修士(情報)
		ネットワーク実習 Webアプリ開発(フロントエンド) Webアプリ開発(バックエンド)
兼任	講師	玉村 友二郎 <令和5年4月> 修士(工学)
		経営統計(基礎) 経営統計(多変量解析)
兼任	講師	稲田 和浩 <令和7年4月> 芸術学士
		芸術 I 芸術 II
兼任	講師	上田 宏和 <令和6年4月> 博士(法学)
		法学
兼任	講師	牛窪 恵 <令和7年4月> 修士(経営管理学)
		メディアと社会
兼任	講師	占部 礼二 <令和5年4月> 学士(経済学)
		キャリアデザイン II
兼任	講師	大塚 孝一 <令和6年4月> 修士(応用言語学)
		Integrated English Skills-IIA Integrated English Skills-IB TOEIC-IA TOEIC-IB TOEIC-IIA TOEIC-IB
兼任	講師	大和田 宗宏 <令和6年4月> 修士(法学)
		情報検定
兼任	講師	亀田 浩一郎 <令和6年4月> 法学修士※
		民法
兼任	講師	加門 史裕 <令和5年4月> 高等学校
		画像表現(基礎) 画像表現(応用) 映像表現基礎(After Effects)
兼任	客員教授	川村 順一 <令和7年4月> 法学士
		コンテンツマーケティング
兼任	講師	木村 郁子 <令和5年4月> 英文学修士
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB Integrated English Skills-IIA Integrated English Skills-IB
兼任	講師	Gayle Kienlen <令和6年4月> Bachelor of Arts
		Global Communicative English-IIA Global Communicative English-IB

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	赤坂 綾 <令和5年4月> 修士(学術)
		中国語 IA 中国語 IB
兼任	講師	藤 由衣子 <令和5年4月> 修士(文学)※
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB TOEIC-IA TOEIC-IB
兼任	講師	浅井 みどり <令和6年4月> 修士(文学)
		Integrated English Skills-IIA Integrated English Skills-IB TOEIC-IA TOEIC-IB
兼任	講師	Anthony Del Vecchio <令和6年4月> Master of Education TESOL
		Global Communicative English-IA Global Communicative English-IB Global Communicative English-IIA Global Communicative English-IIIB Global Communicative English-III
兼任	講師	飯田 千代 <令和6年4月> 修士(情報)
		ネットワーク実習 Webアプリ開発(フロントエンド) Webアプリ開発(バックエンド)
兼任	講師	稲田 和浩 <令和7年4月> 芸術学士
		芸術 I 芸術 II
兼任	講師	上田 宏和 <令和6年4月> 博士(法学)
		法学
兼任	講師	牛窪 恵 <令和7年4月> 修士(経営管理学)
		メディアと社会
兼任	講師	大塚 孝一 <令和6年4月> 修士(応用言語学)
		Integrated English Skills-IIA Integrated English Skills-IB TOEIC-IA TOEIC-IB TOEIC-IIA TOEIC-IB
兼任	講師	大和田 宗宏 <令和6年4月> 修士(法学)
		情報検定
兼任	講師	亀田 浩一郎 <令和6年4月> 法学修士※
		民法
兼任	講師	加門 史裕 <令和5年4月> 高等学校
		画像表現(基礎) 画像表現(応用) 映像表現基礎(After Effects)
兼任	客員教授	川村 順一 <令和7年4月> 法学士
		コンテンツマーケティング
兼任	講師	木村 郁子 <令和5年4月> 英文学修士
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB Integrated English Skills-IIA Integrated English Skills-IB
兼任	講師	Gayle Kienlen <令和6年4月> Bachelor of Arts
		Global Communicative English-IA Global Communicative English-IB Global Communicative English-IB Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB

兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 講師	小西 孝典 <令和5年4月> 修士(経営学)	画像表現(基礎) 画像表現(応用) コンテンツ制作論 映像表現基礎(After Effects) 映像表現基礎(Premiere Pro)
兼任 講師	小林 玲浩 <令和5年4月> 修士(文学)	TOEIC-1A TOEIC-1B
兼任 講師	齋藤 真司 <令和5年4月> 認知科学修士	コンピュータリテラシー(基礎) コンピュータリテラシー(応用) データベース実習 Webアプリ開発(フロントエンド) Webアプリ開発(バックエンド)
兼任 講師	坂下 貴美子 <令和5年4月> 修士(教養)	プログラミング(基礎) プログラミング(応用)
兼任 講師	作田 泰苗 <令和5年4月> 修士(人文科学)	日本語 I A 日本語 I B 日本語 II A 日本語 II B 日本語 III A 日本語 III B 日本語 IV A 日本語 IV B 日本語論文指導 I A 日本語論文指導 I B 日本語論文指導 II A 日本語論文指導 II B
兼任 講師	佐々木 匠 <令和5年4月> 博士(フランスの歴史と記号学)(フランス)	フランス語初級 I A フランス語初級 I B
兼任 講師	Sara Christine Ota <令和5年4月> Bachelor of Arts (オーストラリア)	Global Communicative English-I A Global Communicative English-I B Global Communicative English-II A Global Communicative English-II B Global Communicative English-III A Global Communicative English-III B
兼任 講師	梅原 華子 <令和5年4月> 博士(学術)	TOEIC-1A TOEIC-1B TOEIC-III A TOEIC-III B
兼任 講師	奥野 実行 <令和5年4月> 修士(法学)	簿記原理基礎 簿記原理発展
兼任 講師	浜沢 優介 <令和5年4月> 修士(英語コミュニケーション)	Integrated English Skills-I A Integrated English Skills-I B TOEIC-II A TOEIC-II B
兼任 客員教授	鳥田 輝子 <令和5年4月> 文学修士	人間共生論
兼任 講師	Jonathan Steven <令和5年4月> Master of science in Education (英国)	Global Communicative English-I A Global Communicative English-I B
兼任 講師	Scott William Smith <令和5年4月> Master of Science in Education (米国)	Global Communicative English-I A Global Communicative English-I B Global Communicative English-II A Global Communicative English-II B
兼任 講師	高橋 睦 <令和5年4月> 修士(言語学)	スペイン語初級 I A スペイン語初級 I B
兼任 講師	武井 修 <令和5年4月> 修士(英語コミュニケーション)	Integrated English Skills-I A Integrated English Skills-I B TOEIC-1A TOEIC-1B TOEIC-II A TOEIC-II B TOEIC-III A TOEIC-III B

兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 講師	小西 孝典 <令和5年4月> 修士(経営学)	画像表現(基礎) 画像表現(応用) コンテンツ制作論 映像表現基礎(After Effects) 映像表現基礎(Premiere Pro)
兼任 講師	小林 玲浩 <令和5年4月> 修士(文学)	TOEIC-1A TOEIC-1B
兼任 講師	齋藤 真司 <令和5年4月> 認知科学修士	コンピュータリテラシー(基礎) コンピュータリテラシー(応用) データベース実習 Webアプリ開発(フロントエンド) Webアプリ開発(バックエンド)
兼任 講師	坂下 貴美子 <令和5年4月> 修士(教養)	プログラミング(基礎) プログラミング(応用)
兼任 講師	作田 泰苗 <令和5年4月> 修士(人文科学)	日本語 I A 日本語 I B 日本語 II A 日本語 II B 日本語 III A 日本語 III B 日本語 IV A 日本語 IV B 日本語論文指導 I A 日本語論文指導 I B 日本語論文指導 II A 日本語論文指導 II B
兼任 講師	佐々木 匠 <令和5年4月> 博士(フランスの歴史と記号学)(フランス)	フランス語初級 I A フランス語初級 I B
兼任 講師	Sara Christine Ota <令和5年4月> Bachelor of Arts (オーストラリア)	Global Communicative English-I A Global Communicative English-I B Global Communicative English-II A Global Communicative English-II B Global Communicative English-III A Global Communicative English-III B
兼任 講師	梅原 華子 <令和5年4月> 博士(学術)	TOEIC-1A TOEIC-1B TOEIC-III A TOEIC-III B
兼任 講師	奥野 実行 <令和5年4月> 修士(法学)	簿記原理基礎 簿記原理発展
兼任 講師	浜沢 優介 <令和5年4月> 修士(英語コミュニケーション)	Integrated English Skills-I A Integrated English Skills-I B TOEIC-II A TOEIC-II B
兼任 客員教授	鳥田 輝子 <令和5年4月> 文学修士	人間共生論
兼任 講師	Jonathan Steven <令和5年4月> Master of science in Education (英国)	Global Communicative English-I A Global Communicative English-I B
兼任 講師	Scott William Smith <令和5年4月> Master of Science in Education (米国)	Global Communicative English-I A Global Communicative English-I B Global Communicative English-II A Global Communicative English-II B
兼任 講師	高橋 睦 <令和5年4月> 修士(言語学)	スペイン語初級 I A スペイン語初級 I B
兼任 講師	武井 修 <令和5年4月> 修士(英語コミュニケーション)	Integrated English Skills-I A Integrated English Skills-I B TOEIC-1A TOEIC-1B TOEIC-II A TOEIC-II B TOEIC-III A TOEIC-III B

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	太原 達朗 <令和6年4月> 修士(文学)
		TOEIC-II A TOEIC-II B
兼任	講師	David Pinkney <令和5年4月> Master of Teaching English to Speakers of Other Language (オーストラリア)
		Global Communicative English-IA Global Communicative English-IB
兼任	講師	寺田 敏之 <令和7年4月> 学士(経営学)
		コンテンツマーケティングデザイン
兼任	講師	戸枝 美咲 <令和5年4月> 修士(学術)
		健康の科学 スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	成瀬 結菜 <令和5年4月> 学士(家政学)
		画像表現(基礎) 画像表現(応用)
兼任	講師	沼田 香穂里 <令和5年4月> 修士(英文学)※
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB
兼任	講師	浜田 直道 <令和5年4月> 工学士
		コンピュータリテラシー(基礎) コンピュータリテラシー(応用)
兼任	講師	林 絵美子 <令和6年4月> 修士(経営学)
		キャリアデザインIII キャリアデザインIV
兼任	講師	早野 美一 <令和6年4月> 修士(経営学)※
		消費者行動 流通とEC
兼任	講師	深水(渡辺) 浩司 <令和5年4月> 修士(文化科学)※
		コンピュータリテラシー(基礎)
兼任	講師	白 惠保 <令和5年4月> 高等学校(韓国)
		韓国・朝鮮語初級IA 韓国・朝鮮語初級IB
兼任	講師	前田 敏亮 <令和6年4月> 学士(工学)
		マーケティングリサーチ(基礎) マーケティングリサーチ(実践)
兼任	講師	増永 真 <令和5年4月> 学術博士
		アカデミック・ライティング
兼任	講師	松崎 茂 <令和6年4月> 修士(社会学)※
		社会学
兼任	講師	宮瀬 順子 <令和5年4月> 文学修士
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB Integrated English Skills-III A Integrated English Skills-III B
兼任	講師	森岡 宏行 <令和5年4月> 博士(コミュニケーション学)
		情報処理(基礎) 情報処理(応用)
兼任	講師	守屋 亮 <令和5年4月> 修士(教育学)
		TOEIC-IA TOEIC-IB TOEIC-II A TOEIC-II B

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	太原 達朗 <令和6年4月> 修士(文学)
		TOEIC-II A TOEIC-II B
兼任	講師	寺田 敏之 <令和7年4月> 学士(経営学)
		コンテンツマーケティングデザイン
兼任	講師	沼田 香穂里 <令和5年4月> 修士(英文学)※
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB TOEIC-IA TOEIC-IB
兼任	講師	浜田 直道 <令和5年4月> 工学士
		コンピュータリテラシー(基礎) コンピュータリテラシー(応用)
兼任	講師	林 絵美子 <令和6年4月> 修士(経営学)
		キャリアデザインIII キャリアデザインIV
兼任	講師	早野 美一 <令和6年4月> 修士(経営学)※
		消費者行動 流通とEC
兼任	講師	深水(渡辺) 浩司 <令和6年4月> 修士(文化科学)※
		コンピュータリテラシー(基礎)
兼任	講師	白 惠保 <令和5年4月> 高等学校(韓国)
		韓国・朝鮮語初級IA 韓国・朝鮮語初級IB
兼任	講師	前田 敏亮 <令和6年4月> 学士(工学)
		マーケティングリサーチ(基礎) マーケティングリサーチ(実践)
兼任	講師	増永 真 <令和6年4月> 学術博士
		アカデミック・ライティング 経済学(ミクロ) 経済学(マクロ)
兼任	講師	松崎 茂 <令和6年4月> 修士(社会学)※
		社会学
兼任	講師	宮瀬 順子 <令和5年4月> 文学修士
		Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB Integrated English Skills-III A Integrated English Skills-III B
兼任	講師	森岡 宏行 <令和5年4月> 博士(コミュニケーション学)
		情報処理(基礎) 情報処理(応用)
兼任	講師	守屋 亮 <令和5年4月> 修士(教育学)
		TOEIC-IA TOEIC-IB TOEIC-II A TOEIC-II B Integrated English Skills-IA Integrated English Skills-IB

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任 講師	担当授業科目名	吉田 修馬 <令和5年4月> 修士(哲学)※
	人間共生論	
兼任 講師		Richard Robbins <令和5年4月> Master of Business Administration (米国)
	Global Communicative English-1A Global Communicative English-1B Global Communicative English-2A Global Communicative English-2B	
兼任 講師		若森 幸子 <令和5年4月> 修士(人文科学)
	中国語 1A 中国語 1B 中国語 2A 中国語 2B	
兼任 講師		王 藝媛 <令和5年4月> 博士(社会科学)
	中国語 1A 中国語 1B 中国語 2A 中国語 2B	

兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任 講師	担当授業科目名	吉田 修馬 <令和5年4月> 修士(哲学)※
	人間共生論	
兼任 講師		Richard Robbins <令和5年4月> Master of Business Administration (米国)
	Global Communicative English-1A Global Communicative English-1B Global Communicative English-2A Global Communicative English-2B	
兼任 講師		若森 幸子 <令和5年4月> 修士(人文科学)
	中国語 1A 中国語 1B 中国語 2A 中国語 2B	
兼任 講師		王 藝媛 <令和5年4月> 博士(社会科学)
	中国語 1A 中国語 1B 中国語 2A 中国語 2B	
兼任 講師		池田 慶子 <令和5年4月> 修士(経済学)
	コンピュータリテラシー(基礎) コンピュータリテラシー(応用) 経営統計(基礎)	
兼任 講師		太田 千帆 <令和5年4月> 修士(人間科学)
	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	
兼任 講師		ゲルゲル・クラウディア・ エミリア <令和5年4月> 博士(心理学)
	データサイエンス入門	
兼任 講師		Chew Valenaja <令和5年4月> 修士(教育学)
	Global Communicative English-1A Global Communicative English-1B	
兼任 講師		中島 悠 <令和5年4月> 修士(比較文化学)
	ビジュアル・シンキング	
兼任 講師		仁張 達也 <令和5年4月> 修士(法学)
	簿記原簿論 簿記原簿発展	
兼任 講師		林 夏希 <令和5年4月> 博士(言語学)
	聴解・読解初級ⅠA 聴解・読解初級ⅠB	
兼任 講師		Brazhnikova Teybizova Violetta <令和5年4月> 博士(人文科学)
	スペイン語初級ⅠA スペイン語初級ⅠB	
兼任 講師		南 玉雄 <令和5年4月> 博士(国際関係学)
	聴解・読解初級ⅠA 聴解・読解初級ⅠB	
兼任 講師		横山 巧機 <令和5年4月> 修士(教育学)
	健康の科学 スポーツⅠ	
兼任 講師		Lenther Dorak <令和5年4月> 修士(文学)
	Integrated English Skills-1A Integrated English Skills-1B	
兼任 講師		RENAUDON Annie-Francoe <令和5年4月> 修士(英文学)
	フランス語初級ⅠA フランス語初級ⅠB	
兼任 講師		岩城 倫 <令和5年4月> 修士(文学)
	日本語表現法応用Ⅰ 日本語表現法応用Ⅱ	

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に依る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員名簿(兼任、兼任教員を含む。)を基で記入してください。
- ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の属年齢**を記入してください。
- ・ 兼任(専門職大学等は専、兼任、兼(研)、兼(実)、兼任、兼任の前)に記入してください。
- ・ 不専任年度(令和4年度以降)または令和5年度(以降)の者は講習員としてください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

令和5年4月	池田芳彦教授	在外研究により、令和5年度「初年次ラボ」担当せず。
令和5年3月	倉嶋正彦教授	自己都合により退職。
令和5年4月	川越(松原)仁恵准教授	「ビジュアル・シンキング」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	Rocha Feijo Flavia助教	「TOEIC- I A」「TOEIC- I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	新井保裕准教授	「韓国・朝鮮語初級 I A」「韓国・朝鮮語初級 I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	亀川雅人特任教授	「経済学(ミクロ)」「経済学(マクロ)」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	草野千秋准教授	「キャリアデザインⅡ」を新規で担当。
令和5年4月	櫻澤仁教授	「経営学総論」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	鈴木豊教授	「日本語表現法応用Ⅰ」「日本語表現法応用Ⅱ」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	棚橋サンドラ教授	「Global Communicative English- I A」「Global Communicative English- I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	畑倫子准教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	縣由衣子講師	「TOEIC- I A」「TOEIC- I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	Anthony Del Vecchio講師	「Global Communicative English- I A」「Global Communicative English- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	石村友二郎講師	「経営統計(基礎)」「経営統計(多変量解析)」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	占部礼二講師	「キャリアデザインⅡ」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	大塚孝一講師	「TOEIC- I A」「TOEIC- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	Gayle Kienlen講師	「Global Communicative English- I A」「Integrated English Skills- I A」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	小西孝典講師	「画像表現(応用)」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	小林玲浩講師	「TOEIC- I A」「TOEIC- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	Sara Christine Ota講師	「Global Communicative English- I A」「Global Communicative English- I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	洪正優介講師	「Integrated English Skills- I A」「Integrated English Skills- I B」を令和5年度は担当せず。 「TOEIC- I A」「TOEIC- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	David Pinkney講師	「Global Communicative English- I A」「Global Communicative English- I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年3月	戸枝美咲講師	自己都合により退職。
令和5年4月	成海瑠美講師	「画像表現(基礎)」「画像表現(応用)」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	沼田香穂里講師	「Integrated English Skills- I A」「Integrated English Skills- I B」を令和5年度は担当せず。 「TOEIC- I A」「TOEIC- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	増永真講師	「経済学(ミクロ)」「経済学(マクロ)」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	宮瀬順子講師	「Integrated English Skills- I A」「Integrated English Skills- I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	守屋亮講師	「Integrated English Skills- I A」「Integrated English Skills- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	Richard Robbins講師	「Global Communicative English- I A」「Global Communicative English- I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	王 藝媛講師	「中国語 I A」「中国語 I B」を令和5年度は担当せず。
令和5年4月	ゲルゲル・クラウディア・エミリア講師	「データサイエンス入門」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	小林剛史教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	福井勉教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	甲斐田万智子教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	登丸あすか准教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	小林宏美教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	文野洋教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	山崎幸子教授	「人間共生論」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	Chew Valencia講師	「Global Communicative English- I A」「Global Communicative English- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	Palmer, Sala講師	「Global Communicative English- I A」「Global Communicative English- I B」「Integrated English Skills- I A」 「Integrated English Skills- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	Lanther Derek講師	「Integrated English Skills- I A」「Integrated English Skills- I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	RENAUDON Annie-France講師	「フランス語初級 I A」「フランス語初級 I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	横山巧機講師	「健康の科学」「スポーツⅠ」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	若狭詢講師	「日本語表現法応用Ⅰ」「日本語表現法応用Ⅱ」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	Brazhnikova Tsybizova Violetta講師	「スペイン語初級 I A」「スペイン語初級 I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	太田千秋講師	「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	中尾悠講師	「デザイン・シンキング」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	池田康子講師	「コンピュータリテラシー(基礎)」「コンピュータリテラシー(応用)」「経営統計(基礎)」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	林延修講師	「韓国・朝鮮語初級 I A」「韓国・朝鮮語初級 I B」を令和5年度新規で担当。
令和5年4月	南玉瓊講師	「韓国・朝鮮語初級 I A」「韓国・朝鮮語初級 I B」を令和5年度新規で担当。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	6
10	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	3	0	3	12	0	6	3	0	2	11	0
6	3	0	0	0	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	3	0	3	12	0	6	3	0	3	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
68	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	倉嶋 正彦	R5.3	必修	初年次ラボ	②	R5.3 自己都合により退職のため就任辞退						
				必修	基礎演習	②							
				必修	ビジュアル・シンキング	②							
				選択	ビジュアルデザイン制作	②							
				選択	ビジュアル制作の制作（インフラグラフィック）	②							
				選択	ビジュアルデザイン	②							
				選択	外国書講読	②							
				選択	専門演習（3年）	②							
合計（D）			後任補充状況の集計（E）										
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	0	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計（F）			後任補充状況の集計（G）										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）										
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	0	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目	計	9	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

演習科目については、当初より後任で専任教員として就任予定の教員に7か月前倒して就任することにより、学生への影響を最小限に収めることとした。 学生への周知は、履修ガイダンスならびに時間割において開示した。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和 4 年)	特になし。	(5)	(5)
認 可 時 (令和〇〇年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和〇〇年度)	・〇〇学部〇〇学科において、～を是正すること。		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	・～については是正すること。		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	・〇〇大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 マーケティング・デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 卒業要件 ・必修単位数：28単位 ・選択科目単位数：96単位</p> <p>② 「情報セキュリティ入門」の配当年次 ・1年次</p> <p>③ 施設・設備</p> <p>図書 342,064冊 学術雑誌 516種 電子ジャーナル 34,211冊 視聴覚資料 8,923点</p> <p>④ 経費の見積り及び維持方法の概要</p> <p>設備購入費</p> <p>開設前年度 32,500 千円 開設年度 115,500 千円 完成年度 5,000 千円</p>	<p>① 卒業要件単位数の内訳を以下の理由で変更した。 理由：データサイエンス入門を全学統一で必修科目と定めることとしたため。 ・必修 → 30単位 ・選択 → 94単位</p> <p>② 修学適正配当年次を見直した。→ ・2年次</p> <p>③ 届出時、図書の集計に一部未集計があったためと、大学全体の購入計画を見直したため、</p> <p>図書 → 370,087冊 学術雑誌 → 487種 電子ジャーナル → 43,057冊 視聴覚資料 → 9,609点 と変更した。</p> <p>④ 外部要因による設備（主にPC）の供給不足から、供給の安定を見越し順延を行った。</p> <p>開設前年度 → 19,286 千円 開設年度 → 109,785 千円 完成年度 → 19,286 千円</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更があったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、学部・研究科に共通する教学に関わる事項について審議を行うための全学的機関として、内部質保証委員会を設置している。本委員会は副学長が主宰し、各学部の学部長と各研究科の研究科委員長が出席し、毎年度の各学部・研究科の教学上の総括および次年度計画をPDCAサイクルという形で策定・承認している。本委員会では、FD活動についても毎年度の方針に基づく総括、次年度計画をまとめ、教育の質的向上のために全学的にFD活動を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>内部質保証委員会は毎月第3水曜日に開催され、全学部・研究科の学部長と研究科委員長が出席している。2022年度は11回開催され、教員参加率はほぼ100%であった。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度FD実施計画について ・令和3年度FD実施報告について <p>今年度も同様の内容を予定している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>以下では令和4年度の実施内容を記す。今年度も同様に実施する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学FD（計2回） <ul style="list-style-type: none"> 第1回：DP再考と可視化について 第2回：新しい大学設置基準と今後の大学運営 ・オンラインFD（計7回） <ul style="list-style-type: none"> 第1回：DP設定とその留意点について 第2回：ティーチング・ポートフォリオの作り方 第3回：地域社会と大学の連携について 第4回：IRの機能と本学における課題 第5回：全学教務委員会の取り組み 第6回：大学会議運営の問題と提案 第7回：学生委員会について

- b 実施方法
 全学FDは、全学の専任教員を対象とした教員研修である。
 オンラインFDは、全学の専任教員と、内容によっては非常勤の教員を対象とした、オンラインで配信される教員研修である。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 以下では令和4年度の開催状況を記す。
 ・全学FD（計2回）
 第1回：9月15日開催、教員出席者125名
 第2回：3月16日開催、教員出席者161名
 ・オンラインFD（計7回）
 第1回：6月14日開催、教員出席者135名
 第2回：7月11日開催、教員出席者98名
 第3回：10月25日開催、教員出席者95名
 第4回：11月14日開催、教員出席者114名
 第5回：12月2日開催、教員出席者113名
 第6回：1月23日開催、教員出席者126名
 第7回：2月17日開催、教員出席者102名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 各FD研修会で採り上げた内容および下記授業評価アンケート結果に基づき、各教員は授業の改善や教育技術の向上に役立っている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 学生に対する授業評価アンケートを、原則学期ごとに開講されているすべての科目について年に2回（前期末と後期末）実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 アンケートの集計結果は、教務グループにより各教員にフィードバックされる。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

- ① 体制
- a 委員会の設置状況
 (5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他
- ② 審議状況
- a 審議した内容
 記入例)
 ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
 ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>近年、インターネットの普及に伴う新しいマーケティング概念や、デザイン思考にデジタルを組み合わせたマーケティング手法を熟知し使いこなす人材の社会的な需要が高まりつつある。 文京学院大学経営学部マーケティング・デザイン学科は、そのような社会の要請に応じるために令和5年4月に設置された。学科の目的を達成するために、以下の取り組みを行った。</p> <p>1. 入学者の確保 ホームページ、オープンキャンパス、パンフレットなどを通して、マーケティング、デザイン、デジタルのそれぞれの領域を総合したカリキュラムや、PBL (Project Based Learning) に初年次から取り組むことなどを、志望者に説明した。その結果、入学定員130名に対して544名の志願者を集めることができ、入学者数は158名となった。次年度も入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させる。</p> <p>2. 新入生オリエンテーション 授業開始前の4月に、学科の教育の基本的理念、人材育成目的、学科教育の特色などを説明した。加えて、履修要項、履修モデル、時間割、シラバスなどの資料を示しながら、卒業要件に必要な科目、履修方法、取得可能な資格などについて具体的な説明を行った。また、学科事務、及び教務グループの連絡先を提示し、学生からの質問にも適切に答えられるように配慮した。さらに、新入生同士の親睦を深めるための特別研修を実施した。 2年次以降も1年次と同様に、学生の理解を重視するガイダンスを実施する。</p> <p>3. 初年次教育 本学科では、14名程度のクラスを編成しPBLに取り組む「初年次ラボ」という通年の必修科目において、初年次教育が実施される。内容は、企業等が抱える課題を、ヒアリング調査等を通じて洗い出し、どのようにすれば解決できるのかを考え、文書等にまとめ、プレゼンテーションを行う、といったものである。この一連のプロセスを通じて、読み書き聴く話すといった大学における学びに必要な基礎的なスキルを鍛えるとともに、課題を発見し解決する能力を身につける。また、1年次前期には各クラス担任との個人面談を行い、大学での学修動機を高めるとともに、2年次以降の専門的な学びにつなげていく。</p> <p>以上のことから、設置の趣旨・目的に関して、令和5年5月1日時点としては当初の計画を概ね達成することができていると言える。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 ・ 令和5年6月末日までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・ 大学ホームページ上に公開予定</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 (専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。) ・ 令和9年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく学内で検討中</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ a で「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ <u>公表後3ヶ月以降</u>]</p> <p>c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]</p> <p>≪ a で公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 [()]</p>

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。